

5. 教職科目

※大学院の教職に関する科目(専修免許)

大学院における教職に関する科目(専修免許用)は、以下の科目が開講されています。リベラルアーツ研究教育院において開講する科目も社会・人間科学コースにおいて開講する科目も、どちらも専修免許用の教職に関する科目です。但し、修了要件の単位に含めることができるかどうか異なります。ご注意ください。

表 17 リベラルアーツ研究教育院において開講

文系教養科目とはカウントされません。ただし、学士課程の教職に関する科目と異なり、修士課程の修了要件の合計単位に含めることができます。

科目コード	授業科目	単位	開講 Q	担当教員	備考
LAT.A401	心理・教育測定論	1-0-0	1Q	※萩生田伸子	
LAT.A405	認知心理学の研究	1-0-0	1Q	栗山直子	西暦偶数年度開講
LAT.A409	授業改革の理論研究	1-0-0	1～2Q	鈴木悠太	西暦偶数年度開講
LAT.A411	学校改革の理論研究	1-0-0	1～2Q	鈴木悠太	西暦奇数年度開講
LAT.A412	授業改革の事例研究	1-0-0	3～4Q	鈴木悠太	西暦偶数年度開講
LAT.A413	学校改革の事例研究	1-0-0	3～4Q	鈴木悠太	西暦奇数年度開講
LAT.A414	学校インターンシップ専修Ⅰ	0-1-0	3Q	栗山直子	
LAT.A415	学校インターンシップ専修Ⅱ	0-1-0	4Q	栗山直子	
LAT.A416	エージェンシーの教育関係論	0-1-0	2Q	※山地弘起	
LAT.A417	数理統計学とテスト理論	1-0-0	2Q	永原健太郎	
LAT.A501	教職専門実習A	0-0-1	1～2Q	永原健太郎 栗山直子	
LAT.A502	教職専門実習B	0-0-1	3～4Q	永原健太郎 栗山直子	

注)「担当教員」の欄の※印は非常勤講師を表します。

表 18 社会・人間科学コースにおいて開講

大学院での社会・人間科学系(コース)の専門科目としてカウントされます。

科目コード	授業科目	単位	開講 Q	担当教員	備考
SHS.D445	教育工学特論	0-1-0	1Q	永原健太郎	
SHS.D447	教育学特論	1-0-0	4Q	鈴木悠太	西暦偶数年度開講
SHS.D448	教師教育学特論	1-0-0	4Q	鈴木悠太	西暦奇数年度開講
SHS.D449	教育メディア工学 A	1-0-0	3Q	室田真男	
SHS.D450	教育メディア工学 B	1-0-0	4Q	室田真男	
SHS.D457	インタラクションデザイン特論	1-0-0	3Q	稲葉利江子	
SHS.D458	STEM/STEAM 教育特論	1-0-0	2Q	木村優里	
SHS.D469	教育メディア工学演習 A	0-1-0	3Q	室田真男	
SHS.D470	教育メディア工学演習 B	0-1-0	4Q	室田真男	
SHS.M449	教育心理学特論	1-0-0	1Q	栗山直子	西暦奇数年度開講
SHS.M465	教育システム研究	0-2-0	2Q	栗山直子	

教職に関する履修案内についての詳細は、本学修案内の「VIII. 教職に関する履修案内」を参照してください。また、その中の表 16 に示されている専修免許状取得のための 24 単位の対象科目については、学務部教務課大学院グループまたはすずかけ台教務グループの窓口で確認してください。

表 19 アントレプレナーシップ科目対応科目

アントレプレナーシップ科目について詳しくは、「Ⅲ.教養科目群履修案内ーアントレプレナーシップ科目」および各コースの学修案内を参照のこと。

【参考】アントレプレナーシップ科目の履修案内より

表 MA-1 修士課程学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

GA0M：自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる。

GA1M：学術・研究における誠実性について理解し、自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し、専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる

対応科目 区分	科目コード	科目名	単位数	対応する GA	備考
アントレプレナーシップ科目として みならず 教職科目	LAT.A414	学校インターンシップ専修Ⅰ	0-1-0	GA0M	
	LAT.A415	学校インターンシップ専修Ⅱ	0-1-0	GA1M	
	LAT.A501	教職専門実習A	0-0-1	GA1M	
	LAT.A502	教職専門実習B	0-0-1	GA1M	
上記科目の他、教養科目群アントレプレナーシップ科目から選択すること。（「Ⅲ.教養科目群履修案内」参照）					